



令和4年12月19日

川西町議会議長 鈴木 幸 廣 殿

川西町議会緑風会  
代 表 神 村 建 二

行政視察調査報告について

行政視察調査を実施したので、その内容を別紙のとおり報告いたします。

## 緑風会・日本共産党町議団行政視察研修報告書

1. 視察期日：令和4年11月16日（水）
2. 視察地：千葉県夷隅郡御宿町（いすみぐんおんじゆくまち）役場
3. 視察目的：公共交通の支援体制の取組みについて視察
4. 参加者：緑風会 神村建二、遠藤明子  
日本共産党町議団 橋本欣一、吉村 徹  
オブザーバー 議長 鈴木幸廣
5. 視察地での対応者  
：御宿町議会議長 土井茂夫、同議会副議長 滝口一浩  
議会事務局長 市原茂  
企画財政課長 金井亜紀子、同課長補佐 柴原進一、同課主事 長谷真子
6. 視察内容

- (1) 御宿町の概要

御宿町は、千葉県の房総半島中央部東端に位置し、東京まで75キロ圏内で、平均気温が16度前後の温暖な気候のもと里山里海の自然が広がり、童謡「月の砂漠」の発祥の地となっている白い砂浜を活かしたビーチバレーボール大会を開催し、関東を中心に多くの選手が参加し熱戦が繰り広げられている。

御宿町の人口は、令和4年11月現在7,116人であるが、都市部からの転入者が多いことから、近隣自治体と比べて人口減少はおだやかである。仕事をリタイアした人の転入が多く高齢化率は県下1位となっている。そのため、高齢者の移動手手段の確保が一つの大きな課題となっている。

- (2) 御宿町公共交通の支援体制

- ①交通対策の概要

地域特性や実情に応じた生活交通ネットワークを確保・維持するため、地域間交通ネットワークと接続する町内乗合運行（エビアミー号）を実施している。

その取り組みとして、町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を実施している。これはルートを定めず、運行エリア内を乗合いで移動するもので、事前予約型・町内全域乗合事業として運行している。

## ②乗合運行の実施形態

乗合運行エビアミー号の運行区域は御宿町全域とし、乗降場所は自宅及び、御宿駅、役場、郵便局、クリニック前、朝市通り、福祉センター等 14 か所が共通乗降場所となっている。運行日は毎日行い電話予約をした人が 10 人乗りの車両に乗り合って移動し、帰りは 14 か所のいずれからでも乗車でき、自宅（付近）まで送る。

運賃は、一般（中学生以上）300 円、小学生 100 円、小学生以下 無料となっている。また、乗合運行を利用した人が、同日帰路にタクシーを利用した場合、タクシー料金の半額（最大 500 円）を補助している。

エビアミー号は乗合運行のため路線バスのような時刻表はない。ただし、運行車の位置をスマートフォンなどから見ることにより、迎えの時間を予約することができる。QR コードを読み取るか直接 URL にアクセス可能となっている。

## (3) 総括

御宿町は高齢化率が県内トップである状況や自動車免許証の返納が増加傾向にあるなどから、高齢者の移動手段の確保が課題となってきた。また、都市部からの移住者が増加していること、生活圏が広域化していることなどから、利用者のニーズに対応した公共交通ネットワークが必要となった。そのため町内全域をカバーするデマンド型乗合運行を平成 26 年 10 月から実施してきている。

わが川西町も平成 8 年から町内を循環する町民バスの運行を行ったきたが、人口減少及び車社会の進展により利用者が減少し、平成 18 年度に代替交通手段としてデマンド型乗合交通の運行が開始され現在に至っている。片道 500 円で町内全域に移動することができ、土日、祝日も運行を行うフルデマンドとして利用されている。

予約が必要なことや、町外への移動は他の交通機関を利用することなどは両町とも共通しているが、それぞれの仕組みの在り方は一長一短があり、これから本町として生活交通の確保は今後ますます重要になるため、交通体系のあり方をこれからも研究していく必要があると感じた。

以上